

神田 健次 かんたけんじ

1948年 新潟県新発田市生まれ。青山学院大学文学部神学科卒業、関西学院大学神学研究科博士課程修了。ミュンヘン大学神学部留学、ベルン大学神学部客員研究員、神学博士。
世界教会協議会信仰職制委員を歴任。現在、関西学院大学名誉教授、日本クリスチャンアカデミー理事、エキュメニカル・ネットワーク会長、その他。
著書：『現代の聖餐論—エキュメニカル運動の軌跡から』（日本キリスト教団出版局 1997年）、編著『講座 現代キリスト教倫理Ⅰ 生と死』（日本キリスト教団出版局 1999年）、編著『ミナト神戸の宗教とコミュニティ』（神戸新聞総合出版センター 2013年）、富坂キリスト教センター編（責任編集）『戦争と平和主義—エキュメニズムが目指すところ』（いのちのことば社、2023年）、その他。

榎本 恵 えのもと めぐみ

1961年 京都生まれ。1985年同志社大学神学部卒。滋賀県の障害者施設「茗荷村」、タイ国でのボランティア活動を経、1989年沖縄県伊江村に移住、阿波根昌鴻氏の反戦平和資料館で平和運動に携わる。1998年平和資料館運営のための「財団法人わびあいの里」を設立し、理事に就任。2002年日本基督教団よきサマリヤ人伝道所担任教師。2006年精神科田崎病院デイナイトケア職員を兼任。2007年滋賀県近江八幡「宗教法人アシュラムセンター」主幹牧師就任。著書『負けて勝つとは』（日本基督教団出版局2000年刊行）、『ちいさな心』（マナブックス2005年刊行）『私は耕す人になりたい』（マナブックス2011年刊行）、『石ころも呼び出す ポスト戦後70年の道しるべ』（いのちのことば社 2018年刊行）、共著『ちいさな牧師榎本保郎を語る』（教団出版局2012年刊行）。

橋本 るつ子 はしもと るつこ

1950年 榎本保郎、和子の長女として京都で生まれる。神戸女学院大学音楽学部パイプオルガン科卒業。神戸女学院大学でオルガン要員を勤める。1974年橋本 裕と結婚、下関へ移り、教会にて奏楽奉仕。1982年裕召天。その後梅光女学院中学・高校の音楽教師として31年間勤める。退職後、近江八幡のアシュラムセンターに戻りアシュラムのスタッフとして母和子と共に暮らす。松山教会、北九州インマヌエル教会、大阪天満教会、大阪女学院大学などでオルガンによる賛美、奨励、チャペルコンサートなどを行なう。現在、近江兄弟社学園高等学校ハンドベル部指導者。大阪女学院大学非常勤講師。

沢 知恵 さわともえ

1971年生まれ。日本、韓国、アメリカで育ち、3歳よりピアノを弾く。1991年、東京藝術大学在学中に歌手デビュー。最新アルバム『花はどこへ行った』を含む29枚のアルバムを発表。
第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。東京で季節公演を行う他、ハンセン病療養所、災害被災地、少年院などでも精力的に活動している。2021年、岡山大学大学院修了。おもなテレビ出演に「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「ハートネットTV」など。
おもな著書に『うたに刻まれたハンセン病隔離の歴史—園歌はうたう—』『私のごすべるくろにくる』など。
日本キリスト教団岡山教会員。

[参加費] **35,000円** (2泊7食、消費税、京都市宿泊税込) [定員40名]

- * 全日程参加を原則とします。 * 特記以外の部分参加はお問い合わせください。
- * 満室に達した場合は、締め切ります。

[申込み・問合せ] **関西セミナーハウス活動センター**

TEL : 075-711-2117 FAX : 075-701-5256

メール : office@academy-kansai.org

<http://www.academy-kansai.org>



関西セミナーハウス
活動センターHP



「京都の秋を
愛でる〜」サイト

* できるだけ全日程ご参加ください。やむを得ない場合は、部分参加も可能です。

* お申込みには、電子メールなどで受付のお知らせをお送りします。申込み後2~3日経っても返信が無い場合は、お問い合わせください。

* 前日正午以後のキャンセル、変更には、キャンセル料が発生します。



京都の秋を愛でる

~ウクライナの平和を願って~

2023年**11月23日(木・祝)12:00~25日(土)12:00**

会場:関西セミナーハウス(京都市左京区一乗寺竹ノ内町23)

美しい京都の秋、
比叡の清澄な気に染まる
鮮やかな紅葉を満喫する



紅葉の関西セミナーハウスで
共に過ごす3日間

日頃は、関西セミナーハウス 修学院きらら山荘、並びに関西セミナーハウス活動センターへのご支援とご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

さてこの度、紅葉の美しい季節に、2泊3日の新規プログラムを企画いたしました。刺激的なトーク、ビジュアルアート、音楽、食事を共にしながら交わりの場を持ち、ディスカッションや歌、周辺を散策したり、沈黙や祈りの時間を共にします。

ゲストとして、渡辺総一さん(造形作家)、神田健次さん(関西学院大学名誉教授)、榎本恵さん(アシュラムセンター)、橋本るつ子さん(ピアニスト)、沢知恵さん(シンガーソングライター)をお招きしています。

館内、また近隣の散策で、修学院離宮、曼殊院、赤山禅院と紅葉の名所を巡ること、あるいは、源氏物語にも登場する雲母(きらら)坂を登って、比叡山、京都トレイルを歩くことも自在です。美しい京都の秋を満喫してください。

ご家族、お知り合いの方とお誘い合わせの上、ぜひお出かけくださいますようお願い申し上げます。

主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター
関西セミナーハウス

11月23日-25日

渡辺 総一作品展 「平和への祈り」

わたなべ そういち 1949年宮城県石巻に生まれる。東北学院大学、御茶の水美術学院卒業。絵の制作、絵画教室主宰、41年。聖書を主題とする個展、40回。キリスト教美術展、21回。アジア・キリスト教美術協会のグループ展、インドネシア、マレーシア、韓国、スウェーデン、イギリス、オーストラリア、アメリカなどで。本の表紙画、雑誌の挿画：「信徒の友」、「婦人之友」、「白金通信」などに聖書を主題の挿画、連載。画集『共に歩むキリスト』、「For the Least of These」。共著『喜びも、悲しみも』。アジア・キリスト教美術協会会員、日本美術家連盟会員。



《平和を作り出す人に》(2022年)

11月23日 14:00-15:30

講演 「祈りの造形」

聖書を主題にした絵の制作を41年続けてきました。それは暗中模索の歩みでした。現代において日本において、キリスト教美術はどうあるべきなのだろうか。そう問いながら、試行錯誤の制作でした。今もその途上にあります。しかし、その折々にキリスト教美術のあり方を示唆されてきました。スライドで作品を見ていただきながら、振り返ってみたいと思います。



講師
渡辺 総一

11月24日 14:00-15:30

トークと美術鑑賞 「知りたい アジアのキリスト教美術 —関西セミナーハウスの所蔵作品を中心に—

世界でも屈指の規模をもつ、アジアのキリスト教美術の作品が、ここ関西セミナーハウスにあります。ご一緒にその宝庫を見てみましょう。同じ聖書の箇所でもさまざまな表現がなされています。作家お一人お一人の信仰の証しです。またそれぞれのアジアの国の文化や風土が背景にあります。多様な画材と表し方が見られます。そのキリスト教美術の豊かさに触れてみたいと思います。

11月24日 10:00-12:00

お話と懇親「ウクライナの平和を願って —世界教会協議会(WCC)の 取り組みから」講師 神田 健次



昨年2月、ロシアによってウクライナが軍事的に侵攻された直後から、世界教会協議会(WCC)は一貫して対話と協議による平和主義的アプローチでロシアの軍事的侵略への批判とウクライナ正教会への支援、そしてロシア正教会との対話・交渉を行ってきている。このようなWCCの平和主義の軌跡をふり振り返りつつ、これまでのウクライナ戦争への取り組みを考察し、われわれの課題を共に考えたい。

11月24日 15:30-18:00

ワークショップ「楽しいアート —真・善・美・愛で平和の正四面体—

子供も大人も心にある色や形を描いてみましょう。キリスト教美術は、なによりもまず聖書の真実に近づこうとします。それは善となり、美となります。それを支えているのは、愛だと思えます。この真善美愛を、正四面体は象徴しているように思えます。また三位一体を象徴していると思えます。さあ、キリスト教美術を体験してみましょう。

11月25日 10:00-11:30

沢 知恵 トークと詩の朗読 「かかわらなければ路傍の人 ～ハンセン病回復者との交わり～」

「かかわらなければ路傍の人」(塔和子の詩「胸の泉に」より)
幼少からかかわりのある瀬戸内海のハンセン病療養所で、入所者のみなさんから学んだこと。ともに笑い、泣き、うたったこと。そして、終わりゆく療養所の近くに移住して、ハンセン病療養所の音楽文化を研究するようになったことを語ります。詩の朗読を交えながら。



11月24日 19:00-21:00

ピアノとトーク 「ちいろば先生を語る」 榎本 恵、橋本るつ子



一緒に
歌ってみ
しょう♪

参加費 3,000円 (要申込)
◎全日程参加者は無料

スケジュール

(敬称略)

【期間中 (11/23～25)】 渡辺 総一作品展 「平和への祈り」

【1日目】 11月23日(木・祝)

- 10:00 受付
- 12:00 昼食
- オリエンテーション
- 14:00 講演「祈りの造形」講師 渡辺総一
- 15:30 ～フリータイム～/チェックイン(15:00～)
- 18:00 夕食
- 19:00 懇親の時 自己紹介など(飲み物、おつまみ)
- 21:00 テゼの祈り

【2日目】 11月24日(金)

- 7:00 静想の時
- 8:00 朝食
- 10:00 お話と懇親「ウクライナの平和を願って」講師 神田健次
- 12:00 昼食
- 14:00 講演「知りたい アジアのキリスト教美術
～関西セミナーハウスの所蔵作品を中心に」講師 渡辺総一
- 15:30 ワークショップ「楽しいアート—真・善・美・愛で平和の正四面体」
講師 渡辺総一、なお

フリータイム
絵画鑑賞/散策
など

～フリータイム～

- 18:00 夕食
- 19:00 ピアノとトーク
「ちいろば先生を語る」
ゲスト 榎本 恵、橋本るつ子
♪ ともに歌うひと時 讚美歌他
- 21:00 ～フリータイム～

【3日目】 11月25日(土)

- 7:00 静想の時
- 8:00 朝食/チェックアウト(～10:00)
- 10:00 沢 知恵 トークと詩の朗読
「かかわらなければ路傍の人
～ハンセン病回復者との交わり～」
- 12:00 昼食(弁当) 館内自由
散会

ピアノとトーク「ちいろば先生を語る」

荒野のめぐみ 榎本 恵

父保郎が、今治を辞し、アシュラムセンターの拠点を近江八幡に移した最初のアシュラム誌巻頭言に、こんな決意の言葉が書かれている。
「荒野は荒野である。危険がいっぱいのところである。ただ、獣もそこにはいるが、それに勝る御使がイエスを守り、支えていたというのである。これが荒野の恵みであり、ここで初めて聖書はアーメンの書となるのである。書齋でうづ高く書物を積むだけでは、命に触れることはできない。大事なことは今、このわたしが神と出会い、その初々しいニュースを携え持っているということである」
48年前のこの宣言から、アシュラム運動は始まった。荒野の旅は今も続いている。

一緒に歌ってみましょう♪ 橋本るつ子

牧師の家に育った私にとって讚美歌はとても身近な歌でした。小さい頃から歌ってきた讚美歌はどちらかというと、メロディーの美しさに心惹かれていましたが、成長し讚美歌の歌詞を味わうにつれ、讚美歌には魂を揺さぶり、悲しみを癒し、もう一度立ち上がる力が与えられる!と思えるようになりました。